

古今東西の文学・思想・歴史・経済等の名著を解題した書籍を精選。

# 近代名著解題選集

全7巻

紀田 順一郎編・解説 クレス出版 発行





# 刊行のことば

書誌研究家

## 紀田 順一郎

現代の社会は多様化と流動化に伴い、世代間に共通の価値観を伝えることさ  
ら困難になりつつある。このような状況のもと、人々の行動の規範となるよう  
な文学・思想書や、倫理および美意識を培うための教養書の重要性は、いよ  
よ高まっているにもかかわらず、出版その他の制約のため、図書館などでも手  
に取りにくくなり、さらには活字接触率の低下が露わになっているような状況  
下では、学校・公共図書館などでいかなる作品を備えるべきか、教育の現場で  
どのような書物を古典として採りあげるべきか、という問題に関して、混乱と  
迷いを感じることも多くなっている。

このような事情を背景に、確固とした、適切な選書の指針が求められるの  
は当然といえよう。巷間に名著のガイドブック、あらずし解説本が氾濫してい

るのも偶然ではない。それらは必読の名作を選び、要約を行うことによつて、  
一種の名著案内となっている。憾むべきは体系的に乏しく、広く必読書・名著  
の全領域をカバーしたとはいえないことである。

本選集はここに思いをいたし、体系的という点で準拠するに足る解題書を縦  
断的に選定したものである。これらを参照することにより、定評ある名著の概  
要が正確に、立体的に把握し得るといふ点で、本邦初の試みといえよう。数種  
の解題を比較することによって、原著の正確な予備知識はもとより、それに對  
する各時代の評価をも自ずから把握することができよう。

さらに、この解題選集は便利な名著事典としても活用し得る。およそ文学・  
思想書の内容は、簡単な概説だけでは作品の全体像を窺うことは困難である  
が、本選集に収録した各巻を検索することにより、容易に作品の特徴や時代背  
景、正確な筋や全体の構成などを、文学事典から得られない精度をもつて把握  
し得るのであろう。

古代・中世の民話伝説から近代の文学・思想にいたるまで、豊富な人類の遺  
産に接することは、基本的な教養としても欠くことのできないものである。そ  
の意味においても本選集が有力な道しるべとなり、いささか文字・活字振興に  
貢献することを期するものである。

## 近代名著解題選集 全7巻

### 1 世界名著解題

馬場弧蝶著／昭和2年 誠文堂

### 2 名著解題大辞典

太陽堂編輯部編／昭和6年 太陽堂書店

### 3 日本文学書誌

石山徹郎著／昭和9年 大倉広文堂

### 4 書物から見た明治の文芸

岡野他家夫著／昭和17年 東洋堂

### 5 鎖国時代 日本人の海外知識

— 世界地理・西洋史に関する文献解題 —  
開国百年記念文化事業会編／昭和28年 乾元社

### 6 総合編年 近代文学事典

石上 堅著／昭和32年 一歩社書店

### 7 近代日本名著解題

岡野他家夫著／昭和37年 有明書房



誠文堂選集 號旬下月八

### 一書當千を誇る

## 世界名著解題

◇廣告の通り八月は日用語大辞典と、  
世界名著解題を配本することになった。  
日用語大辞典は別項の通り、辞典界の  
一大権威者として高名なる芳賀先生が  
多年の苦心によるもので、内容は勿論  
ページ数から言っても本全集の巻で  
あろう。

◇世界名著解題は内容本位とし、文獻  
的よりも寧ろ讀物本位として、能ふ限  
り世界的名作を入れた爲めに、著作年  
表は已むを得ず割愛することとした。

その代り元前のホメロスから現代に  
至るまでの著名なる作品は殆ど全部を  
網羅したは愉快である。しかし同  
じくトルストイの作品でもその傑作は  
必ずしも復活だけに止らず、アンナ  
カレニナがあり、戦争と平和があつて  
同一人の傑作を全部掲載することは限  
られたページ数内では所詮不可能であ  
るから、同一作家のものはその代表作

## 日本人の海外知識

### 元和航海記(寛)一冊

元和四年(一六一八)序 池田好運

この本は京都大學圖書館に所蔵される。もとの所蔵者で、かの  
「外交史稿」の著者である北澤正誠が、その初めに「天下一本ノ  
珍書ナリ」と註したほどの稀覯本である。この書の著者は長崎の  
住人、肥後菊地の姓、池田與右衛門入道好運で、その自序は元和  
四年八月に書かれてゐる。彼の自序によれば、著者池田好運はマ  
ヌエル・ゴンザロ Manuel Gonzalo とし、當時わが國に在留し  
たポルトガルの航海貿易家について、元和二年に行師の道を傳授  
され、さらに兩年、相伴つて呂宋に渡海したとある。その結果生  
れたのが本書である。従つて、その内容は長崎から呂宋や暹羅へ  
の航路について、また「緯度の測量や、氣象の観測、海深の測定  
などをはじめ、暦日、星辰、風位、海潮等に關し、或は機械を示  
しつつ或は經驗によりつつ航海に關する種々の心得ぐさを記載し  
た」(新村出氏著)ものである。新村博士は「されば此書は、ひとり  
航海書として價值があるばかりでなく、歐洲の學術移入史上の資  
料としても當代無二の稀書といはねばならぬ。」(右同)と絶讃さ  
れてゐる。

1 本書については左の諸論を参照せられたい。  
その本文は海表叢書第三卷・海事史料叢書第五卷に収載さ  
れてゐる。解説としては

### 諸國土産書(寛)一冊

寛文九年(一六六九) 西川 忠兵衛

この書の前半は主として支那各地の物産やわが國からの距離を  
示し、後半は「阿蘭陀人商賣往來國々」の土産や日本からの里程  
を書いたものである。その東洋方面の記は「寛文九年西三月朔  
旦、唐通辭、頼川藤左衛門」が書き、オランダ商人の往來する國  
國の記は「寛文九年西四月二十九日、阿蘭陀通辭、西吉兵衛」が  
書いたものである。西川如見の「華夷通商考」や新井白石の「外  
國事略」(別名外國土産)また田邊茂啓の「長崎志」に收められ  
た「交易往來之諸處里數物産之事」等の記の原本となつた資料と  
同系のものと思われる。水戸の彰考館文庫には享和二年の寫本が  
所蔵されてゐた。

1 拙稿「西川如見の華夷通商考について」(歴史地理・七  
七ノ一)参照。岩崎克己氏はその著「前野蘭化」の中に「諸  
國土産書」の考證を掲げられ、これが「華夷通商考」の種  
本だといわれた。しかし、後に見る「異國風土記」は更に  
「華夷通商考」に近い關係にある。

## 近代文学事典



### 明治二八

八空

樋口 一葉(一八七〇一八六六) 奈津

### 日清講和

条約調印

### 観念小説

4

### 悲慘小説

4

### 子規の日

本派隆盛

### ゴッガン

タヒチに

### 移住

フランソ

### ユール

のふる衣)

小説家。東京麹町生。中島歌子の門  
に入る(姉弟子は三宅花圃)。妹くに  
子の友人野々宮菊子の紹介で半井桃  
水に小説作法を師事。後浮評により  
絶縁するが、その精神的打撃に堪え  
かねる。明治二七年夏大音寺前より、  
本郷丸山福山町に転居してから、独  
創の境地をつくつた。「今紫式部・  
清少納言」の評を得たが、人生と人  
間関係との古典的把握によつて、そ  
の美しさと深さを見させてゐる。二  
五才結核で逝く。「うらむらさき」  
未完のまま。「大つごもり」「たけく  
らべ」「一葉日記」(明治二四年四月  
一日より二九年七月二二日。「身  
のふる衣」)

(其一)浪花城奥殿  
奥かたづけの腰元ども、掃除しま  
うて寄りこぞり  
「オ、しんど、オ、しんど、お  
目ざめにはまだ間がある、皆さん  
暫時休むまいか  
二「そのオ、しんどで思ひ出した、  
此の頃の遅いお目ざめ、日がな一  
日あのやうに、ちんとしておいで  
なされても、おからだが疲れるも  
のかいな

也。  
「から山に吼ゆてふ虎の声きかず  
さびしき秋の風たちけり」

たけくらべ 1 樋口 一葉  
小説。吉原遊廓近下谷大音寺前  
に住み荒物屋をしていた時の見聞に  
よる古典的小説。竜華寺信如・田中屋  
正太郎・大黒屋美登里の三人思春期  
の葛藤。美登里と信如は淡い恋情を  
感じながら反撥し合ひ、信如は作り  
水仙を彼女の家の格子にさして信  
なるため去る。一月より文学界連  
載、「勢語」筒井筒のヒントによ  
る。「雛鷄」を改名。西鶴風な句切  
法を用いた情趣・哀感の流れ。  
廻れば大門の見返り柳いと長けれ  
ど、お齒ぐる溝に燈火うつる三階  
の騒ぎも手に取る如く、明けくれ  
なしの車の行来にはかり知られぬ  
全盛をうらなひて、大音寺前と名

寒山落木 2 正岡 子規  
俳句集。子規自作の俳句を分類して  
稿本とした五巻。一二七〇〇句。明  
治一八年より二九年までのものを收  
む。創作力旺盛な作者故、全作品を  
丹念にまとめているが、玉石混淆。  
月並時代から、蕪村による写生開眼  
の時代、晩年に至る展開の痕を辿り  
得る。  
柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺  
いくたびも雪の深さを尋ねけり  
文芸倶楽部 1 文学雑誌  
昭和八年一月廢刊。石橋思案編集。  
次第に大衆的となり後に通俗雑誌。  
最初は春陽堂の「新小説」と争い文  
壇の一流をあつめた。鏡花「夜行巡  
査」「外科室」、柳浪の「黒蜥蜴」



# 近代名著解題選集 全7巻

紀田順一郎 編・解説

- |                 |               |                   |
|-----------------|---------------|-------------------|
| ① 世界名著解題        | 定価12,000円(税別) | ISBN4-87733-328-2 |
| ② 名著解題大辞典       | 定価15,000円(税別) | ISBN4-87733-329-0 |
| ③ 日本文学書誌        | 定価20,000円(税別) | ISBN4-87733-330-4 |
| ④ 書物から見た明治の文芸   | 定価11,000円(税別) | ISBN4-87733-331-2 |
| ⑤ 鎖国時代 日本人の海外知識 | 定価11,000円(税別) | ISBN4-87733-332-0 |
| ⑥ 総合編年 近代文学事典   | 定価 8,000円(税別) | ISBN4-87733-333-9 |
| ⑦ 近代日本名著解題      | 定価10,000円(税別) | ISBN4-87733-334-7 |

A5判/上製函入/クロス装 平成18年8月末日刊行

揃定価87,000円(税別) ISBN4-87733-335-5(セット)

# 近代世相風俗誌集 全9巻

紀田順一郎 編・解説

- |                  |               |                   |
|------------------|---------------|-------------------|
| ① 東京風俗志 上中下巻     | 定価13,000円(税別) | ISBN4-87733-303-7 |
| ② 明治初年の世相        | 定価11,000円(税別) | ISBN4-87733-304-5 |
| ③ 太政官時代          | 定価16,000円(税別) | ISBN4-87733-305-3 |
| ④ 江戸と東京 風俗野史     | 定価12,000円(税別) | ISBN4-87733-306-1 |
| ⑤ 明治時代の風俗        | 定価10,000円(税別) | ISBN4-87733-307-X |
| ⑥ 日本風俗史          | 定価 6,000円(税別) | ISBN4-87733-308-8 |
| ⑦ 銀座百話、銀座・築地物語絵巻 | 定価11,500円(税別) | ISBN4-87733-309-6 |
| ⑧ 明治詩話           | 定価 7,500円(税別) | ISBN4-87733-310-X |
| ⑨ 明治少年文化史話       | 定価 8,000円(税別) | ISBN4-87733-311-8 |

揃定価95,000円(税別) ISBN4-87733-312-6(セット)

# 日本年表選集 全八巻

日置 英剛 編・解説

- |                        |               |                   |
|------------------------|---------------|-------------------|
| 第一巻 泰平年表、和漢年契、日本金石年表   | 定価 9,500円(税別) | ISBN4-87733-265-0 |
| 第二巻 日本年表、新撰東西年表、万国大年表  | 定価11,000円(税別) | ISBN4-87733-266-9 |
| 第三巻 古今人物年表、国史研究年表、歴史日鑑 | 定価11,000円(税別) | ISBN4-87733-267-7 |
| 第四巻 日本史籍年表             | 定価15,000円(税別) | ISBN4-87733-268-5 |
| 第五巻 帝諡考、元号考            | 定価12,500円(税別) | ISBN4-87733-269-3 |
| 第六巻 日本文化史年表            | 定価11,000円(税別) | ISBN4-87733-270-7 |
| 第七巻 史籍年表、新撰年表、新撰洋学年表   | 定価13,500円(税別) | ISBN4-87733-271-5 |
| 第八巻 日本百科年表             | 定価11,500円(税別) | ISBN4-87733-272-3 |

揃定価95,000円(税別) ISBN4-87733-264-2(セット)